

ひまわり

令和5年12月号



↑カラー版はこちらから

「正月の凧揚げ」

正月の凧舞い上がる風も眩し (山口 誓子)

校長 門脇 伸也

2学期は、児童・生徒・教職員にとっては挑戦や成功を繰り返しながら、コロナ禍の課題を乗り越える時期でした。感染症予防対策は継続しつつ、保護者や関係機関の皆様が如何にして学校を開いていくか、4年振りの宿泊行事をどのようにして再開していくか、新宿区の教育課題研究校として区内公立小中学校へ向けて、『ICTの活用』について、本校を会場にしてどのように研究発表会を開催していくか、隔年に実施する本校の最大学校行事の『ひまわり祭』を保護者の家族の皆様にごどのように参観してもらおうか、といった諸課題に取り組みました。どれも令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症予防対策により、入館者数の制限をしてきていましたが、それを緩めることとなります。5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことで、世間一般の感染症に対してのアンテナは低くなってきましたが、免疫力が弱いと言われている肢体不自由児をお預かりする本校としては、継続している感染症予防対策への御理解と御協力は不可欠なものです。結果として、たくさんの保護者と参観者の方の御理解と御協力が得られたことで、生き活きと学習する児童・生徒の姿を御覧いただけたことや、保護者同士が共有できる話題が増えたことは、二重の喜びとなったと捉えています。



現在、コロナ禍で免疫力が低下した幼・小・中学校の子どもたちを中心に、新型コロナウイルス感染症をはじめ、インフルエンザやアデノウイルス、溶連菌等々の感染症が流行しています。本校でも少しずつ出始めています。改めて校内の衛生管理と児童・生徒と教職員の心身の健康管理、個別最適な学習の実現へ向けての授業改善、働き方改革と、まだまだ乗り越えていかなければならない課題があります。新たな年の始まりが迫った今、令和6年度の計画を練りつつ、新しい目標をもつ時となっています。

こうした時期ですので、冒頭のイラストには正月の凧揚げのイラストを選びました。凧揚げは、子供から大人まで、多くの人々に愛されている伝統行事であり、自分の夢や目標、願いを空高く舞い上げるものです。このような行事を通して、児童・生徒はお互いを支え合い、協力することの大切さを学ぶのです。新宿養護学校を大きな凧揚げ大会と例えれば、凧揚げは協力とチームワークを重んじる機会とも捉えられるものであり、風に合わせて力を加え、学校と保護者が協力する必要があります。新たな年の始まりにあたり、コロナ禍での学びや経験から得た目標や夢を、凧の形に込めてみようとして山口誓子さんの俳句を掲載いたしました。強い風に乗って、それらの凧が高く舞い上がり、夢や目標へと近づいていくことを祈ります。

来る3学期も、子どもたちの成長と学びの場となることを願っています。どんな大きな夢も、たくさんの風に乗って舞い上がりますように。そして、私たちが助け合い、協力しながら、その夢を実現へと導いていけることを心から願っています。

今月は例年になく寒暖の激しい月となっています。保護者及び地域、関係機関の皆様年の瀬に向かい御身くれぐれも御大事にしてください。

中1・2年生移動教室

11月30日から一泊二日の移動教室に行ってきました。一日目は、銀杏並木が色づく道を抜けて渋谷方面へと足を延ばしました。「渋谷ストリーム」という建物の駐車場から降り立ち、スクランブルスクエア内にある「渋谷スカイ」に向かいました。屋上広場では、快晴の空の下、両手を広げて真っ青な大空を感じたり、遠く富士山までの眺望を見渡したり、ハンモックに横たわったり等、気持ちよく過ごせました。お昼は「渋谷ヒカリエ」内のディズニーハーベストマーケットというレストランでひと息ついた後、宿泊先の戸山サンライズへと向かいました。お風呂に入ったり、部屋で写真を眺めたり、友達と談笑したり、リラックスした皆の笑顔が印象的でした。二日目は「SOMPO美術館」でゴッホ展を鑑賞しました。名画「ひまわり」等を見てきました。館内ではマナーを守って静かに鑑賞できる素晴らしい中学生でした。

小6一日校外学習

11月21日(火)、小学部6年生で葛西臨海水族園に行ってきました。当日は天気にも恵まれ、出発前から子どもたちはとても嬉しそうにしていました。水族園に向かうバスでは、レクリエーションでカラオケ大会をしました。みんな好きな曲を選んで、スピークマイクをもって楽しそうに歌っていました。水族園では、深海魚や大きなマグロ、ペンギン等を観察しました。マグロの水槽に行くと、大きなマグロがたくさん泳いでいて、子どもたち全員がくぎ付けになって見ていました。水族園の教育プログラム「触れて体験」では、なまこやヒトデ、カニ等を触りました。実際に海の生き物に触る体験のときは、優しく丁寧に掴んでいて、さすが6年生だなと思いました。

笑顔いっぱい、楽しく海の生き物について学べた移動教室でした。



令和5年度 道徳地区公開講座

12月8日(金)に、令和5年度の道徳地区公開講座を行いました。当日は、小学部3クラスと中学部の合計4つの「特別の教科 道徳」の授業を公開し、その後は保護者、地域の方々と共に協議会を行いました。

各クラスの児童・生徒の実態を基に、学習指導要領から目標と題材を選んで授業を行いました。協議会では、新宿区教育委員会 池田知指導主事に「特別の教科 道徳」について御講演していただきました。その後の意見交換では、地域や保護者の方から「コミュニケーションのとり方や気持ちの伝え方を学ぶことが大切。」や、「どの児童・生徒も、先生方も頑張っている姿を見られてよかった。」といった感想をいただきました。

今回の公開講座と共に、学校の教育活動全体を通して道徳的な心情や態度を育てる指導を続けて参ります。御参加いただき、ありがとうございました。



教職員対象の講演会

11月29日(水)に医療的ケア児の保護者であり、写真家の山本美里さんに来校いただき、本校教職員対象に講演会を開催しました。山本美里さんの著書である『透明人間』が生まれた経緯について様々な話をお聞きすることができました。11月2日～11月29日の期間で、本校エントランスにて写真展を開催しました。展示していただいた作品を含め、著書に掲載されている作品のそれぞれの背景や、一つ一つの作品に込められた思いをお話いただきました。写真の中には、保護者としての視点や第三者から見た視点など、様々な視点から捉えた写真がありました。保護者として率直に感じられていることを山本さんの言葉で話していただき、とても貴重なお話を聞くことができました。

